
プログラマになりたい

交わらない世界

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

プログラマになりたい

【Nコード】

N4237BA

【作者名】

交わらない世界

【あらすじ】

プログラミングをしてみたい君に。

ちなみに作者は初心者レベルなので過度な期待はしないでください。

(前書き)

プログラミングの説明が始まると会話文が主体になります。

はじめまして、俺は山田 太郎どこにでもいるプログラマになりたい中学二年生だ。

「プログラマー、そういうえばお隣の桜ちゃんがプログラミングをやってたっけ、教えてもらえるかな？」

まあ、初心者と変わらないっていったけど何もしてない未経験者は何かをしている初心者に習う方がいいだろう。

「桜ちゃん、お邪魔します」

そういつて俺は窓からお隣の家に入っていく。

「ねえ、バカなんで勝手に乙女の部屋に入ってきているの？」

無表情でそういつてくるのは俺のお隣さんの緋山 桜だ。

かなり小さくて中学二年生で130cmしかない床につきそうなぐらい髪が長い、かなりの美少女であるが面倒くさがり屋なところが玉に瑕だ。

「いや、プログラミングを教えてもらおうと思って」

「プログラミング教えてもらおうって、私は初心者」

あきれるようにそういつ桜ちゃん。

「それでも俺よりは知ってるだろ？ だから教えてくれ」

実際にしていいか分かん。

「はあ、分かったそれじゃあ太郎の部屋に移動する」

「お、いいのか？ ありがとう」

「はあ、どうせ断ってもしつこく言ってくる」

桜ちゃんがボソツと何か言ったが俺には聞こえなかった。

「むむ、それじゃあまずは使用する言語を決める」

「Cだ、C言語がいい」

「はっ」

鼻で笑われた!?

「え？ なに？ なんで俺鼻で笑われたの？」

「いや、さすが太郎だと思って……それじゃあ太郎」

」

```
#include
```

```
int main(void)
```

```
printf( "Hello World\n" );
```

```
return 0;
```

```
}
```

```
『
```

```
「と」
```

```
』
```

```
msgbox "Hello World"
```

```
『
```

「ではどっちが簡単だと思う?」

「え? そりゃあ下のほうだけど? 上のほうとか意味がわからない何であんなに長いのか? 下のもよくわかんないけど上のよりは分かりそう」

「うん、上の方がC言語で下が私が今回教えようと思うVBScript (以下VBS)

はつきり言っただけ私としてはC言語は初心者になんか向かないと思っただけ

なぜか? それはシンプルではないから

初心者はそんな難しいことをするわけでもないただ文字を出力するだけでこんなに長々と書かなくてはならない?

もっとシンプルでいい、ある程度基礎ができれば他の言語を学ぶのもいい

まあ私としてはC言語を学ぶならある程度言語について知ってからの方がC言語を学ぶのは楽しいという感じ」

「うーん、そうなのかそれじゃあなんで今回はぶいびースクリプト？ を教えようと思ったんだ？」

「それが一番手間がなくて簡単だったからVBSはWindowsであれば基本的に最初から入っている

他のはインストールなどしなければならぬから面倒」

「あー、そうなんだ」

ここにきて面倒くさがり屋が発動するとは。

「まあ、本当に初心者におすすめの言語なんて分からない何をするか決めてるならそれに沿った言語を習えばいいでも特に目的がなく趣味であるなら覚えやすいなら私は何でも言いと思ってる

とりあえずひとつ覚えておけば基礎的な部分は似てるからそれに他の言語も覚えやすくなる

まあ、なんにしてもやらないと始まらないから始める」

「おお、そうだなよろしく頼む」

「じゃあ、まずはデスクトップにでもフォルダを作る名前は好きな名前をつけるといい名前は所詮飾りだ、私は【VBS】にする」

「うーん、それじゃあ俺もそれでいいこう」

「フォルダが作れたらテキストドキュメントを作るこれも好きな名前でもいい私は【Hello World】にした」

「俺は面倒だからこのままにしよう」

「次は作ったテキストに『msgbox "Hello World"』と入力もしくはコピーアンドペーストをする『』はいらない中だけ」

「入力し終わったぞ」

「それじゃあ、保存して閉じる」

「保存して閉じたぞ」

「それじゃあ次は拡張子を変える」

「拡張子？」

「そう、拡張子、拡張子というのは”.”(ピリオド、ドット)で区切られたファイルの種類を識別するための文字列のことそれで」

「まっつてくれピリオドってどこにあるんだ？ 俺の【新規テキストドキュメント】にはついてないんだが？」

「忘れてた、たしかwindowsの初期設定では拡張子は隠されている表示するにはフォルダのメニューバー(「ファイル(F)」 「編集(E)」 などと並んでいる場所です)の中の「ツール(T)」を選択してその中の「フォルダオプション(O)」

」を選択する
するとフォルダオプションのウィンドウが表示されると思うその中の「表示」のタブをクリックする
クリックしたら「詳細設定」の「登録されている拡張子は表示しない」チェックはずして「OK」をクリックする
これで拡張子が表示される」

*こんな説明じゃあ理解できないよ分からないよって人は検索エンジンで「拡張子 表示」など検索しましょう。

*ちなみにXPの説明なのでそれ以外の人も検索してください。

「おお、【新規テキスト ドキュメント・txt】になってるなこの最後の【txt】ってのが拡張子か？」

「うん、そして【txt】の部分を【vbs】にする」

「ん？ 拡張子を〓〓変更しますか？ って警告が出たぞ？」

「気にせずに「はい(Y)」をクリックばいい」

「アイコンが変わった！？ なんかレシートみたいなのが書かれてる」

「とりあえず成功、そのアイコンをダブルクリックして」

「なんか出てきた！ Hello Worldって書いてある」

「それはメッセージボックスこれで始めてのプログラミングは終わり、「OK」「かxで消す」

「なんか結構あつけなかつたな」

「次は説明に入りたいたまず今回のプログラムは文字を出力するとい
うもの

```
『 msgbox " Hello World" 』
```

の中で重要なのは『 msgbox 』と『 ” ” 』だけ『 Hello
World 』はなくても動く実際にさっきのプログラムの『 He
llo World 』を削除してみる

まずは、拡張子を【vbs】から【txt】に戻すこうしなければ
編集できないから他には右クリックで「プログラムから開く」
H)「 を選択してメモ帳で開くなどをすればいい」

「確かに動いたな、けどさつき表示されてた Hello Worl
dが表示されなかつたな」

「うん、 Hello Worldは『 ” ” 』には含まれていたから
表示された今回は何もは含まれていなかったからなにも表示されな
かったということ、これで『 ” ” 』と『 Hello World 』
の部分については分かったと思う

『 ” ” 』は間に文字を入れるとそれが表示される『 Hello W
orld 』は表示される部分と言つこと」

「おお、分かったぞつまり『ピコーン』と表示したかったら『ピ
コーン』』とすればいいんだな」

「まあそんな感じ、次は『 msgbox 』について説明するこれは
メッセージボックスを表示するのに使う

メッセージボックスというのはあの「OK」 ボタンと×しか

なかったシンプルなウィンドウのこと」

「あれがメッセージボックスか、それじゃあ『』はメッセージボックスに文字を表示するのに必要ってことか」

「うん、そう数字だったら『』はいらないために『msgbox 123』としてみるといい」

「お、本当だ123で表示された」

「文字を使うなら『』を使う数字なら要らないもちろん数字を『』ではさんでもいいけどそうなると数字ではなく文字として認識される」

「文字として認識される?」

「うん、メッセージボックスに表示されるのは数字だけどプログラムとしては文字として認識してる」

「そうだ『msgbox 5+9』と『msgbox "5+9"』を試してみて」

「最初のやつは14になったな計算されてるのか? 次のやつは5+9ってそのまま表示されたな」

「つまりプログラムに数字として認識されていたら計算されるけど文字として認識されてたら計算されないって事か」

「そういうこと、今回はこれで終わりどうだった? 初めてのプログラムは?」

「楽しかった、これからよろしく頼む!」

「分かった太郎よろしく」

こうして俺の初めてのプログラミングは終わった。

(後書き)

分からないことや聞きたいことがあれば感想に。

人気があるようなら連載を考えてみます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4237ba/>

プログラマになりたい

2012年1月11日07時02分発行